

学位論文の調査要旨

専攻名 (又は推薦専攻名)	地域イノベーション学専攻	氏名	泉谷 和昭
学位論文題目	コミュニティ公共施策におけるインセンティブシステム活用に関する研究－有償ボランティア・ドライバーによる紀北町「あいのり運送」実証事業をとおして－		
調査委員会	委員長 三宅 秀人 委員 西村 訓弘 委員 八神 寿徳		
<p>調査結果の要旨</p> <p>泉谷和昭氏の論文では、三重県紀北町で実施された有償ボランティア・ドライバーが参加するライドシェア型の地域公共交通施策が有効かを探る『紀北町「あいのり運送」実証事業』をとおして、その運営に対する協力メンバーに有償ボランティア形式の人材を活用する有意性を示し、そのインセンティブの設計視点を明らかにすることを目的に研究が行われた。コミュニティの活性化を目指す様々な公共施策を定着させるためにはコミュニティメンバーや関係する人々の自発的な参加・協力が欠かせないことから、コミュニティメンバーが運営側に協力する様なインセンティブ構造があれば有効に機能する可能性があるという点に着目して、「有償ボランティア」という仕組みを導入した。</p> <p>紀北町で実施した実証事業に協力頂いたボランティア・ドライバーに対するアンケートと聞き取り調査を通して、有償ボランティアの持つ有意性と特質を示した。特に退職者や準退職者が協力するケースで認められる彼らの内にある「プロ意識重視⇔自発性重視」という意識軸を示し、複数のインセンティブを組み合わせる考え方とその必要性について明らかにした。本論文で得た知見は、コミュニティにおける公共施策を円滑、効果的に推進するために有意に機能することが期待でき、経常的に便益を提供しつづける様なコミュニティ活性化策を設計・推進する際に有意に機能すると考えられる。</p> <p>以上の研究成果は、地域イノベーション学の研究として有意義であり、博士（学術）の学位を授与するにふさわしく、合格と判定する。</p>			